

高槻病院

脳神経内科

指導担当医（役職）

松下 達生（主任部長）

実習概要

実習コース

2週間コース

概要

脳神経内科の主治医の一員として数人の患者を受け持ち、毎日診察を行い、ディスカッションを重ねて2週間の診療に参加します。病棟受け持ち患者については火曜日に行っている病棟カンファレンスでプレゼンテーションを行います。また救急外来から応召要請の際は同行参加し、初期対応から初療の流れについて研修医やスタッフとともに行き、学んでいただきます。希望があれば外来診療の実際を見学していただき、初診患者の病歴聴取や、身体診察・神経学的診察、画像などの検査から診断への流れを学んでください。

実習スケジュール

- 病棟実習では毎日担当患者主治医とともに担当患者の医療面接、身体診察を行い、病状把握とともに神経診察とその解釈について学ぶ。検査や病状説明に同行し、神経所見を含めたカルテ記載を行います。
- 火曜日午前中の病棟カンファレンス/回診に参加し、担当患者の病歴、疾患状況、検査結果やそれに基づく今後の方針について主治医としてプレゼンテーションを行い全体でディスカッションを行います。

3. 救急外来から脳神経内科オンコールで対応を求められた際は随時救急室で患者の診察を行い、救急診療について経験します。
4. 月、木の12:15~45は病院全体としてのショートレクチャーがあり参加していただきます。
5. 外来、検査については希望により随時見学していただきます。

学生へのメッセージ

神経疾患は取り付きにくいというイメージが多いようですが、実際に臨床症状があり、診察所見や検査など=証拠集めから犯人=疾患への道を紐解いていく手段は慣れておくと必ず将来に役立つと思います。他分野の疾患でも病棟や救急外来で神経診察が必要になることもしばしばありますので、実際にどのような診療をしているのか一度体験してみてください。